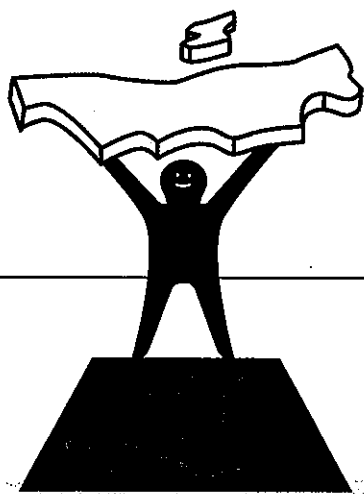


都市政策ビジョンの 基本理念は。

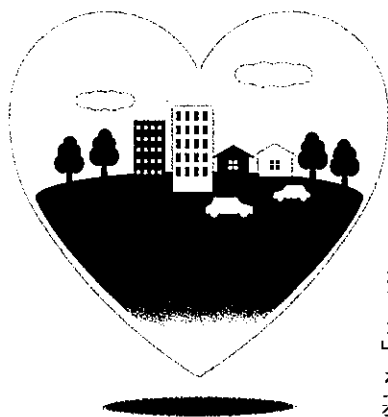
このビジョンでは、これからの
新潟の都市づくりを検討していく
に当たり、次のような基本的な考
えに立って進めていきます。



「やわらか」

人口減少、少子高齢化が進行する時代を迎え、誰もが安全に、かつ安心して暮らし、多様な活動をのびのびと繰り広げることによって満足感や達成感を感じることができるよう、生活・活動基盤の充実が都市に求められます。また、身近な自然や生態系の保全・再生や、資源・エネルギーの効率的使用による環境への負荷軽減など環境への配慮が都市づくりに必要です。

都市政策ビジョンでは、住む人々や自然環境に対する「やさしさ」を基本理念の一つとして都市づくりを考えます。



二、躍動

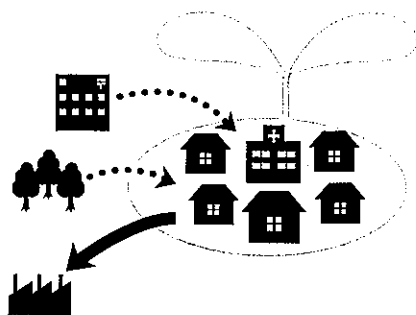
長期的な低成長経済への移行、情報化やグローバルイズムの進展などを背景に、都市のにぎわいや活力が失われつつあり

ます。都市政策ビジョンでは、様々な都市活動が豊かに展開し、新たな産業の活性化により多様な雇用が創出され、国内外を問わず多くの人々が交流する、日本海側の交流拠点にふさわしい「躍動」を基本理念の一つとし、にぎわいや活力の回復を念頭においた都市づくりを考えます。



三、再生

これまでの人口増加、高度経済成長の時代には、都市部に人口や産業が集



中し、市街地中心部の地価高騰が続きました。また、モータリゼーションの進展とも相まって、郊外への土地利用の拡大が進み、市街地が拡散する方向にありました。一方、人口減少、低成長の時代を迎え、一転して中心市街地の衰退が問題となっています。また、市街地周辺部での水と緑の環境の喪失などの問題も生じています。

人や自然環境への優しさを確保し、都市の賑わいを回復し持続させていくためには、都市づくりにおいてこれまで採られてきた市街地拡大・拡散の方向を見直していくことを基本に据える必要があります。都市政策ビジョンでは、既存のインフラを活用しながら適切な規模と密度で市街地を「再生」していくことを都市づくりの基本理念の一つとし、やさしさと躍動が持続する都市づくりを考えます。

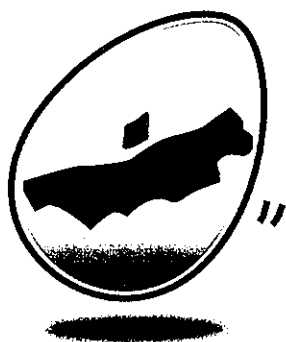
四、新潟らしさ

県内の都市はそれぞれが地形、気候、風土、水、緑、歴史、文化等特色ある優れた個性を有しており、それらが集まって県全体の「新潟らしさ」を構成しています。

このような個性を尊重し、活用しながら、各都市の抱える課題や雪に代表される地域的な条件を克服・改善して、それぞれの都市の価値を高め、新たな魅力を創出する都市づくりへの取り組みが求め

られています。都市政策ビジョンでは、新

しい「新潟らしさ」の構築を基本理念の一つとし、21世紀の歴史に刻まれる質の高い都市づくりを考えます。



五、パートナーシップ

住民、民間企業、研究機関、行政等が相互の信頼のもと、それぞれの役割と責任を分担しながら多様な価値観や理想を都市づくりに反映していくことが求められています。都市政策ビジョンでは、「パートナーシップ」を基本理念の一つとし、市町村と密接な連携を保ちながら協力して都市づくりを進めるとともに、NPOを始めとする、自ら積極的に関わり、責任を持つて取り組んでいこうとする人々との連携や、住民の自発的・自律的なまちづくりの取組を促す方策を考えます。



